

上尾中央総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記のお問合せ先にご連絡下さい。

|                     |  |
|---------------------|--|
| 課題名                 | 回復期リハビリテーション病棟退院後の脳卒中患者の生活に対してセラピストが差を感じる症例の特徴   |
| 受付番号                | 1237   |
| 当院の研究責任者（所属）        | 成塚直倫（リハビリテーション技術科）   |
| 研究者等（所属）            | 小黒修平、武藤佑太（リハビリテーション技術科）  |
| 研究期間                | 2024年5月26日～2024年11月17日   |
| 調査データ対象期間           | 2020年10月1日～2024年4月30日  |
| 本研究の目的              | 当院急性期を経由し回復期リハビリテーション病棟から退院した脳卒中患者のうち退院後電話調査を実施した脳卒中患者に対して担当セラピストが入院中に見込んでいた生活と退院後の実際の生活に差を感じた群と差を感じなかった群を比較することで退院後の生活に差を感じた症例やセラピストの特徴を明らかにする。               |
| 対象となる患者さん           | 調査データ対象期間に、急性期病棟から回復期病棟を経由し自宅へ退院され、退院後電話調査を実施した脳卒中患者さん   |
| 利用する試料・情報           | 基本特性、退院時 Functional Independence Measure(FIM)、回復期病棟在棟日数、家屋評価実施の有無、回復期病棟入棟から入棟時家屋評価までの日数、退院時家屋評価実施から退院までの日数、介護者の有無、患者さんの退院後生活状況の予測と現実のギャップをリハビリテーション担当者が感じたかどうか |
| 試料・情報の他の研究機関への提供の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 無し<br><input type="checkbox"/> 有り（ ）   |
| 個人情報の保護に関する情報       | 利用する情報から氏名や住所等の患者さんの特定につながる個人情報は削除します。研究成果は学会や学術誌等で発表する可能性があります。その際は患者さんを特定できない形で行います。   |
| 本研究の資金源（利益相反）       | <input checked="" type="checkbox"/> 無し<br><input type="checkbox"/> 有り（ ）   |
| 倫理審査等の経過            | 第271回上尾中央総合病院倫理委員会にて承認   |
| 公開日                 | 2024年5月31日   |
| オプトアウト期間            | <input checked="" type="checkbox"/> 公開日から1か月<br><input type="checkbox"/> 当該疾患の当院受診日から1か月   |
| お問合せ先               | 電話番号 048-773-1111（代表）<br>上尾中央総合病院 クリニカルリサーチセンター<br>情報管理部・組織管理課 又は 薬剤部・治験管理科  |

